

備後俯瞰

救急指定 日曜診療 労災指定

寺岡整形 外科病院

リハビリテーション
脳ドック

福山市南本庄(2号線沿)

☎(084) 923-0516

稼働状況をリアルタイムで把握 内海機械がスマート工場実現 ロス改善で生産性向上

工作機械部品製造の㈱内海機械(府中市鶴飼町七四三一、内海和浩社長)はこのほど、同社工場内の機器を相互にネットワークで接続して「スマート工場」化した。

工場内の機械の稼働状況をリアルタイムで把握でき、稼働率が向上。生産性も高まった。内海社長は「これを機に、さらなる経営品質の向上に取り組む」と意気込む。

同社工場内の機械をすべてLANでつなぎ、昨年9月から試験的に運用。2月21日からスマート工場として稼働を始めた。社内や工場内に設けたモニターに機械の稼働状況



がリアルタイムで表示されるII写真上。これにより、どこにロスがあるかが一目で分かるようになり、すぐに改善に着手できる。

以前は、その日の作業が終了してから稼働状況を人力で計算、記録していたため、把握するのに時間を要していた。スマート工場化に伴い、工場内のカメラを通じてリアルタイムの映像でも状況を確認できるように。内海社長によると週別や月別のデータ蓄積も可能で、業務の改善を積み重ねるのに有効という。

同社は業務のロスを無くすために5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)の実践を徹底。機械の配置の工夫や工具類の位置化などを通じて、何がどこにあるか一目で分かる整然とした環境を作り上げ、稼働率を一年で30%もアップさせた実績があるII写真下。



スマート工場化はその総仕上げと位置付ける。短納期化で独自の市場を発掘してきたと自負する同社。「スピードがサービスにつな

大型船の着岸などに対応 福山港埠頭の改良に着工 2023年度完成目指す

国土交通省中国地方整備局と広島県は3月9日、福山港の港湾施設整備や埠頭の再編などを行う「福山港ふ頭再編改良事業」に着手した。同日、福山市内で着工式典が行われ、関係者からは港湾整備による物流機能の強化や地場産業の成長に期待の声が寄せられた。

式典には約一〇〇人が参加。中下善明副知事や浅輪宇充・国交省大臣官房技術参事官が「関係機関と連携し、早期完成にしっかりと取り組む」とあいさつ。着工セレモニーで壇上の代表者がスイッチを押すと、工事現場で重機が作動

したII写真。同事業は福山港の箕島・箕沖両地区で実施。箕島地区では岸壁や航路・泊地の水深を現在の一一メートルから一二メートルに



がる」とし、スマート工場化を通じて「5S日本一を目指す」と意気込む。品質とスピードを求めて「常に最新の機械を入れるよう心掛けて」と内海社長。「成果が出ることで社員のモチベーションも上がる」と話し、今後も取り組みを続ける方針だ。

て船舶の大型化や岸壁の老朽化に対応する。箕沖地区では第二バースを八〇メートル延伸、全長二五〇メートルにするなどしてコンテナ船の大型化に対応する。福山港は岸壁の老朽化や岸壁の延長の不足などから着岸困難で、沖合いで順番待ちする滞船が発生するなど非効率な輸送が課題となっていた。事業の完成により効率的な輸送が実現することで、鉄鋼業など地域経済の発展につながる」と期待される。2023年度の完成を目指しており、総事業費は一四二億円。

枝広直幹市長は「これから五年間、福山市は産業団地造成や駅前再生事業などで大きく変わる。中でも港湾はインフラ中のインフラ。機能を発揮できるまちづくりを心掛けた」と話した。